

## 5月のできごと



会場を1周する車いすとアイマスクの体験

## 合い言葉はノーマライゼーション

駅南福祉フェスティバル  
5月8日 富士駅南まちづくりセンター

高齢者・子ども・障害者がともに理解を深め合い交流する場として開催されました。

会場は、車いす、アイマスク、手話などの福祉体験コーナーのほか、缶積みなど遊びのコーナーも充実。手づくりの人形を使った劇や読み聞かせにも多くの子どもが集い、楽しんでいました。

参加者は、福祉体験を通して、介助をする側とされる側の立場に立ち、福祉について改めて学んでいました。



折り返し地点に当たる新東名高速道路富士川付近

## 青空のもと爽快に歩く

第33回富士ふれあいウォーク  
5月15日 新東名高速道路ほか

青々と晴れ渡る空のもと、1531人が、17キロメートルを歩きました。

富士総合運動公園をスタート・ゴールとし、開通前の新東名高速道路を富士川方面へ歩く特別往復コース。参加者は工事途中のインターチェンジを見たり、建設中のトンネルを通ったりしながらウォーキングを楽しみました。

また、この日は富士山も美しく、雄大な風景に参加者は感嘆の声を上げ、足をとめていました。



緊急避難確認リストで避難経路や所要時間を確認

## 東日本大震災を教訓に県内一斉で訓練

津波対策訓練

5月21日 田子浦中学校ほか

大津波警報と避難指示の同報無線放送を合図に、田子浦・今泉地区の住民1866人がそれぞれの避難場所に一斉に避難する訓練を行いました。

田子浦中学校に集まった790人は、避難経路や所要時間を確認しながら、市職員による説明に真剣に耳を傾けていました。

訓練後には、今泉地区の依田橋町で避難ビルの調査が行われ、市職員や町内会長、住民らが2か所のビルの安全性を確認しました。